

研修(研究)報告書

令和 〇 年 〇 月 〇 / 日

玉名市議会
議長 内田 靖信 様

氏名 古奥 俊男 (実)

下記のとおり、参加(開催)しましたので報告します。

参加議員	作本幸男、中尾嘉男、近松恵美子、西川裕文、古奥俊男、坂本公同		
日時	平成 〇 年 1 月 12 日(火)~平成 〇 年 〇 月 〇 日() 午前 〇 時 〇 分 ~ 午後 10 時 〇 分		
場所	玉名市役所4階第一委員会室	参加者数	40人
研修(研究)事項	発達障害を取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち		
概要及び所見	<p>新生クラブ会派近松議員の音頭で出雲市ゆめの森子ども園園長前島由美先生と講師に迎え発達障害の子ども達への対策について講和をいただいた。参加者は執行部、保育士、保護者、各施設など多くの出席いただき急増する発達障害の原因、脳内アレルギーと脳の栄養障害と云う言葉の耳にし食の危険という出合で食の見直しミネラル補給による改善が必要であるとのことミツバチが減っているミツバチは植物にとって欠かせない存在であるがそのためには環境保全型の農業を進めていく必要がある学校給食をオーガニックのものにするこで子どもの健康を守ることが出来るミネラル豊富な食材や自然有機栽培の野菜を食べる事で障害改善につながるという講和であった。</p>		

玉名市においても増加している発達障害と言われる子どもたちへの改善方法を考えるうえで、貴重な講演会であり、意見交換した内容を今後の施策に打ち出していきたいと考えている。

～講演会～

子どもが変わる 未来が輝く！

輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち

日時 令和3年1月12日（火）午前10時から12時

場所 玉名市役所4階

講師 前島由美先生（ゆめの森子ども園）

前島由美先生のプロフィール

25年間保育士として保育園に勤務。その時に、オーガニックな保育園の給食でアレルギー症状が改善していくのを実感。2011年保育士の仕事から療育支援へ移行。急増する発達障害児の原因を探る中、脳内アレルギートと脳の栄養障害という言葉を耳にし、「食べなきや危険」との出会いで著者の国光美佳氏とともに食の見直し（ミネラル補給）による改善に取り組み。

2013年、出雲大社の神気に包まれる地に、天然自然素材の古民家風日本家屋を新築。衣食住の普体験を療育に取り入れるべく古民家ゆめの森子ども園を開園。

ミネラル豊富なおやつや食事を子どもたちに提供しながら、鶏、みつばち、ヤギ、ウサギ、犬、猫の飼育、自然栽培によるお米や野菜づくり、カマドごはんを炊く等昔の生活体験や安心できる居場所づくりで現在小1～高校生まで30数名の発達障害と呼ばれる子どもたちを改善に導いている。

2019年、11月に保護者、学校長、スタッフなどの寄稿とともに、「輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち」を出版。

主催 玉名市議会 新生クラブ

玉名市においても急増している発達障害と言われる子どもたちに対して、何か改善の方法はないものか、と考えていたところ、前島先生の著書に出会い、今回、現場の方々と学び意見交換するなかで、このことについて市が積極的に取り組むように我々も効果的な施策を打ち出していきたいと考えております。



ゆめの森子ども園
愛の関わりと連携の実例集

輝きを取り戻す

“発達障がい”と呼ばれる
子どもたち



感覚過敏からくる問題行動や不登校――

苦しい状況に置かれた子どもたちを救う、

ゆめの森子ども園の取り組みを紹介！

そこには愛の関わりと食療改善、学校・家庭・支援者の連携がありました。

療育場とゆめの森の連携で実現した療育実践

療育小児科病棟との連携で振り返る実践事例

療育者に寄せられる質問・相談への具体的な回答

ゆめの森子ども園代表
前島由美 著

